

シンポジウム 2011

「地域医療実習の実践

地域推薦枠医学生及び一般医学生への取り組み」

2011年3月4日(金)

於: 都道府県会館 (東京 赤坂見附)

現在、地域の医師不足が顕在化し、多くの医学部・医大にて、いわゆる地域推薦枠医学生の入学制度が導入され、全国で1000名を超えております。地域推薦枠医学生には、都道府県の医学修学資金が整備され、その多くに卒後に地域で働く義務があります。全医学生に対する地域医療教育と共に、彼らが地域で働くことに興味を持つために、地域医療の卒前教育は重要だと考えます。

これまでのシンポジウムでは、地域枠学生に対する付加的な教育、特に地域に根ざした実習は必要で有用であること、地域医療教育は地域枠学生だけでなく、全ての医学生に行う必要があること、地域により地域医療の事情が異なるので、地域の特性に根ざした教育が必要であることなどが討論され、共通のコンセンサスが得られてきました。各大学で、その教育について模索中のことも多いと思います。

そこで、2009・2010年に企画しました地域医療教育関連シンポジウムの続きとし、今回地域医療実習をテーマにシンポジウムを企画しました。

ープログラムー

日 時: 2010年2月19日(金曜日) 午後13:00~午後16:30

場 所: 都道府県会館(東京 赤坂見附)1階大会議室

参加費: 無 料

参加者: 全国の医学部・医大の地域医療教育関係者。
都道府県自治体の関係者、医学生。

13:00 開始 開催趣旨説明

嶽崎 俊郎 (鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター センター長)

13:10 講演「地域医療マインド醸成のための地域医療実習のあり方」

岡山 雅信 先生 (自治医科大学 地域医療学センター地域医療学部門 准教授)

14:00 地域医療実習教育全国アンケート集計報告

根路銘 安仁 (鹿児島大学 離島へき地医療人育成センター 特任准教授)

14:20 各大学の实習への取り組み紹介

a 前田 隆浩 先生 (長崎大学 離島・へき地医療学講座 教授)

14:40 休憩

15:00 各大学の实習への取り組み紹介

b 佐藤 勝 先生 (岡山大学 地域医療人材育成講座 教授)

c 前野 哲博 先生 (筑波大学 地域医療教育学 教授)

d 山本 和利 先生 (札幌医科大学 地域医療総合医学講座 教授)

16:00 総合討論

16:30 終了

(最大17:00までの延長あり)



都道府県会館会場



受付



開催趣旨説明



講演(岡山雅信先生)



各大学実習への取り組み紹介



総合討論



質疑応答



シンポジウムの様子